

新型コロナウイルス感染症が収束しない中での 大雨等災害時における避難所等の開設について

新型コロナウイルスが猛威をふるう中、いつ起きるかわからない自然災害時においても「密閉」・「密集」・「密接」3つの密を避ける行動が求められます。

災害が発生し避難所を開設する場合には、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、感染症対策に万全を期することが重要となります。

このため、感染拡大防止対策を踏まえた避難所の開設が必要となりますので、その際の運営について、ご理解とご協力をお願いいたします。

**新型コロナウイルス感染症が収束しない中でも、
災害時には、危険な場所にいる人は避難することが原則**です。

知っておくべき **5** つのポイント！

- 避難とは[難]を[避]けること。
安全な場所にいる人まで避難場所に行く必要はありません。
- 避難先は、小中学校・公民館ではありません。
安全な親戚・知人宅に避難することも考えてみましょう。
- マスク・消毒液・体温計等が不足しています。できるだけ自ら携行してください。
- 利府町が指定する避難場所、避難所が変更・増設されている可能性があります。災害時には利府町ホームページ等で確認してください。
- 豪雨時の屋外の移動は車も含め危険です。やむをえず車中泊をする場合は、浸水しないよう周囲の状況等を十分確認してください。

日ごろから非常時持出品の準備をお願いします。

特に不足がすることが予想されますので、下記の品目はできる限り避難される方ご本人で準備してください。

マスク



消毒用
アルコール



ウェット
ティッシュ



石鹸・
ハンドソープ



体温計



スリッパ



発熱等の風邪症状がみられたら

発熱、咳、だるさなどの症状がある方は、避難所での受付の際に必ず申し出てください。また、問診、体温測定などにご協力ください。

「自らの命は自らが守る」意識を持ち、適切な避難行動をとりましょう